

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議 開催報告書

開催日時	令和7年2月19日	風楽里アルコーブにて
当日あつまって頂いた委員の皆様		議 題
利用者	2人	1 活動状況報告
利用者家族（風楽里）	1人	スライドショー
〃（笑楽日）	1人	2 身体的拘束適正化検討委員会
知見者	0人	3 風楽里 笑楽日 外部評価について
市職員	1人	
地域包括支援センター	1人	
地域住民の代表者	1人	
事務局	3人	

1 利用者様の日常の様子を、活動状況報告書を読みながら報告しました。

事務局・・・令和7年12月から2月までの日常の様子です。

多くの行事があり、年末年始を楽しく過ごされています。

クリスマス会では、利用者様扮するサンタさんが、保育所善毎の園児たちにプレゼントを渡したり、歌を唄って楽しく過ごしました。

地域の活動で道泉交流センターでの折り紙教室は笑楽日、風楽里両方の利用者様が多数参加して頂き、盛況でした。

年末年始の食事は恒例の握り寿司やおせち料理が振舞われています。

2月には保育所善毎の園児たちが、給仕をする、喫茶店レクが盛り上がりました。

今後も地域や、各事業所と連携して活動していきたいと思えます。

2 身体拘束適正化検討委員会

事務局・・・身体拘束に当たりうる事例はありません。

本日医師会からの虐待・身体拘束に関する研修に職員が参加し、

来月の施設内研修で、報告発表を予定しております。

3 風楽里外部評価

今回は「本人暮らしの状況把握」としてお一人お一人に対する、職員の自己評価をまとめた物をご報告しました。

前回の会議でまとめさせていただいたものと合わせて、来年度の目標を決めていく予定です。今年度は「個々の外出」でした。

地域の代表・・・各個人で外出支援というのは大変ではないか。

事務局・・・介護度が上がり、大勢での外出が困難になり、個別援助が増えてきている。

さらに外出自体を遠慮されることが増えている。複数で出かけた方、

個人対応が良い方、ニーズに合った外出の機会を増やしたい。

笑楽日外部評価

地域かかわりシート② を使用して、委員の方のご意見を伺いたいと思います。

④ 前回の改善計画で、運営推進会議により多くのスタッフが参加できるようにする、という取り組みは、結果的に困難であった。

今後は利用者様と一緒に大勢での参加等、会議の形を工夫することが必要かと思われる。

⑤ 地域とのかかわりでは、夏祭りが直前のコロナ感染によって中止となり、残念でした。

建屋が目立ちにくく、事業所を知る手段としてホームページを見て見学に来られる方が増えてきた。

⑥ 地域に出向いて活動するというのも、なかなか実現は困難であったが、保育所と合同行事が増えた点は良かったと思う。

⑦ 運営推進会議で災害対策や、避難訓練の方法について助言を頂くことができた。

ご家族・・・たてまえはあるが、現実的に町内活動ができるかと言えば難しいのではないか。

ご家族・・・保育所の園児たちと日常から触れ合えるのはとても良いと思う。

⑧ 利用者以外の心配な方についてのかかわりは、民生委員の方から、地域包括へ、それからご相談を受けるというケースがある。

地域包括・・・民生委員の方からの情報から訪問し、サービスにつながると良いと思うが、サービス自体を嫌がられたりするケースもある。宅配弁当等の細かなサービスから少しずつだが時間はかかる。

事務局・・・笑楽日の方でも、まずは、顔なじみになって、訪問から始めても通いに繋がらない方もいるが、支援が途切れることのないように、地域包括とも連携している。

ご家族・・・利用者である家族が、知り合いを笑楽日に誘いたいということがあった。

事務局・・・嬉しいが、それぞれご家庭の事情もあり、慎重になる必要もあると思う。

⑨ 防災計画 より具体的な BCP の策定が必要と思われる。

訓練時、サイレンの音が大きく、長く続いたので、近隣住民に避難訓練の告知をする必要があったのではないかという、意見があった。事業所の取り組みの開示となり、地域の方の参加にもつながる可能性があると思う。

以上 令和 6 年度 第 6 回 運営推進会議の報告とさせていただきます。

次回は 4/16 (水) を予定しております。

報告者 伊丹